

主な記事

2～3面 令和4年12月定例会の概要

4面 議会活動の紹介

県議会からのお知らせ

わかやま 県議会だより

WAKAYAMA PREFECTURAL ASSEMBLY

クイズ&プレゼント

正解者の中から抽選で「図書カード」を
10名様にプレゼント!!

Q:県内各地に点在する歴史や文化のストーリーに、食、温泉、体験などを組み合わせた旅モデルを「わかやま〇〇〇〇」と言います。〇〇〇〇には何が入るでしょう。

ヒント:2～3面を読んでね。

応募方法:4面をご覧ください。

経済警察委員会

経済警察委員会は、10月12日、和歌山市に本社・工場を有する株式会社インテリックスを訪れ、DXの取組等について調査を行いました。

まず、会社概要等について説明を受けた後、国内最大級のカーテン縫製工場等を視察しました。そこでは、リアルタイムで生産状況を見える化「することによる生産効率や品質向上の取組のほか、テレビ電話を利用し、販売店



インテリックス

から顧客が工場のアドバイザーに直接質問することが出来る独自システムなど、販売面も含めたIoTの活用について調査しました。また、ベトナムからの外国人技能実習生の状況などについて、意見交換を行いました。



インテリックス

常任委員会

活動レポート

6つの常任委員会のうち、前号に引き続き3つの委員会の活動を紹介します。



福祉環境委員会

福祉環境委員会は、10月12日、東洋ライス株式会社和歌山本社(和歌山市)と株式会社南紀白浜エアポート(白浜町)において調査を行いました。

まず、東洋ライスでは、独自の米加工技術による商品での健康に関する実証実験や大学との共同研究の結果、また、米のとき汁を有機肥料に加工するなどの、循環型農業実現を目指す取組等について調査を行いました。



東洋ライス

次に、南紀白浜エアポートでは、地域活性化に向け、自治体や他企業と連携した様々な取組や、太陽光発電の自家消費のほか、周辺施設や地域への電力融通も目指す取組などについて調査を行いました。

福祉環境委員会では、今後も全ての県民が健康で活気のある暮らしができるよう取り組んでいきます。



南紀白浜空港

文教委員会

文教委員会は、県立高等学校における外国語教育と、国際交流の実践状況について調査することを目的に、10月12日に和歌山市にある県立星林高等学校を訪れました。

まず、校長先生からカリキュラムや進路など学校の概要について説明を受けた後、県内ではじめて設置された国際交流科における外国語教育や国際交流の取組、進路の状況について聞き取りを行いました。

その後、調査時に訪日中であったタイの高校生との交流授業を視察しました。文教委員会では、今後とも学校教育や生涯学習の推進等、教育全般の充実に向け取り組んでいきます。



星林高等学校



星林高等学校

12月定例会の概要

会期 11月29日から12月15日までの17日間

会期中の主な動き

特別委員会の開催

- 行政改革・基本計画等に関する特別委員会 ……12月9日

【一般質問議員 16人】

12月6日(火)				12月7日(水)			
濱口 太史	中西 徹	玄素 彰人	林 隆一	岩井 弘次	堀 龍雄	楠本 文郎	佐藤 武治
12月8日(木)				12月9日(金)			
杉山 俊雄	山家 敏宏	片桐 章浩	川畑 哲哉	谷口 和樹	鈴木 徳久	中 拓哉	井出 益弘

議決結果・意見書等

項目	件数	概要	結果
予算案件(知事提出)	2件	令和4年度和歌山県一般会計補正予算	可決
条例案件(議員提出)	2件	和歌山県議会の保有する個人情報の保護に関する条例 等	可決
条例案件(知事提出)	10件	知事及び副知事の給与その他の給付条例の一部を改正する条例 等	可決
決算案件(//)	2件	令和3年度和歌山県歳入歳出決算の認定について 等	認定
その他案件(//)	17件	令和4年度建設事業施行に伴う市町村負担金について 等	可決
意見書	7件	成年後見制度の充実を求める意見書	可決
		北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書	
		走行距離課税の導入反対に関する意見書	
		知的障害者・知的障害行政の国の対応拡充を求める意見書	
		マイナンバーカードを強制する健康保険証廃止の撤回を求める意見書	否決
高齢者の移動手段の確保を求める意見書			
香料の成分表示や法規制の検討等を求める意見書			

主な質問とこれに対する知事や関係当局の答弁は、次のとおりです。(要約)

新型コロナウイルスの感染状況と今後の対応

問 新型コロナウイルスの感染状況はどうか。また、今後の感染拡大に備え、入院医療体制をどう確保するのか。

答 10月中旬以降、新規感染者の増加傾向が続いており、今後、新たな変異株の出現などによる感染の急拡大を懸念しています。

また、今冬の季節性インフルエンザとの同時流行も想定し、医療機関等と連携を図りながら、これまでの知見を活かし、柔軟に対応できるように準備を進めています。

未来を拓く子供を育てる環境作り

問 妊婦子育て家庭への伴走型相談支援と経済的支援に、県はどのように取り組んでいくのか。

答 核家族化が進み、地域のつながりも希薄となる中で、孤立感や不安感を抱く妊婦子育て家庭も少なくありません。

そのため、伴走型相談支援として、妊娠届出時から、出産・育児等の見通しを立てられるよう子育て世代包括支援センターにおいて、面談や情報発信、相談対応等を行い、必要な支援等につなげます。



和歌山県大学生等進学支援金

問 支援金制度の概要と直近2年間の状況はどうか。

答 この制度は、進学意欲があり、能力が高い低所得世帯の大学生等に年間60万円、4年間で最高240万円を貸与し、大学等卒業後に県内就職等した場合に、その返還を免除するものです。令和3年度は、小論文及び面接からなる検査と、高校での学習状況をもとに選考を行い、46名に貸与を行いました。令和4年度は42名を内定者として、大学等合格後に貸与する予定です。

緊急避難施設等の運用

問 他国のミサイル発射への対策として、地下施設の避難施設指定に取り組むべきではないか。

答 県内の緊急一時避難施設指定を進めており、令和3年4月1日現在における人口カバー率は、226.2%で、全国平均の108.5%を大きく上回っている状況にあります。

また、地下施設やコンクリート造りの堅牢な建物については、爆風等からの直接の被害を軽減する効果が大きく、今後も、それらを優先的に指定します。

教員の確保

問 教員の採用に関して、どう取り組んでいるのか。

答 県教育委員会では、優れた人材を将来にわたり安定して確保するため、他府県も含めて広報活動を行っています。

また、採用試験では、より高度な専門性を備えた人材確保のための特別選考の実施や受験生の負担軽減、受験機会の確保などに取り組んでいます。

さらに、教職への応募機会を増やし、即戦力となる人材を確保するため、令和4年度から秋に教員採用の追募集を実施しています。

和歌山県のすばらしさ

問 仁坂知事は和歌山県のすばらしさについてどう思うか。

答 和歌山県のすばらしさは第一に自然の美しさ、環境の良さにあります。また、食材もおいしい温泉もある。こういう自然が文化・伝統・歴史と一体となっていて、世界遺産や日本遺産として国内外から高く評価されています。

第二の良さは、人間だと思いません。歴史上の偉人を輩出するだけでなく、経済界でも科学の世界でも多くの人たちが活躍しています。また、偉人だけではなく、エルトゥール号の乗組員の救助に当たった串本町の人々、クヌッセン機関長の遺徳をたたえ続ける美浜町や日高町の人々。こういった市井の人の献身的な振る舞いや誠実さのDNAも受け継いでいます。さらに、よそ者を差別しない、これは和歌山県のすばらしさのころだと思えます。

仁坂県政16年を振り返って

問 仁坂知事の思い、県民、県議会、県職員に向けてのメッセージは。

答 16年間でこれまで和歌山の発展を阻害してきた要因は随分取り除かれました。今後の発展の基礎条件を整備できたと思います。議会の皆様には、きちんと県政をチェックし、また、協力し

ていただき感謝します。

県民の方には、生まれ故郷の知事として働かせていただき、良い評価をもらえたことに感謝します。

県庁の皆さんには、私の要求によく応えて、県政を立派に盛り立ててくれたと思います。全ての皆さんのおかげで楽しく仕事ができました。ありがとうございました。

マイナンバーカードの利便性向上への取組

問 利便性向上に向けて、どう取り組んでいくのか。

答 子育て・介護分野の主要な手続について、令和4年度末までに全ての市町村において、マイナンバーカードを用いた電子申請による受付を開始することとなっています。また、住民票の写しの交付申請など、子育て・介護分野以外の手続についても、県が標準様式を作成するなどの支援を行っています。皆様が様々な場面で、マイナンバーカードの利便性を実感できるように、引き続き、関係部局や市町村と連携して取り組んでいきます。



高校生が使うタブレット端末

問 県立高等学校の生徒に貸与しているタブレット端末は県下統一であるが、生徒が自分の機器を選択できるようにしてはどうか。

答 生徒に同じ端末を貸与すれば、生徒同士が互いに教え合うことができ、教員は機器トラブル等への対応を一元的にできます。

一方、端末を選択できるようにした場合、学校と家庭で継続的な学習が促進され、日常的な活用が期待できます。生徒による端末選択については、次期更新に向け、慎重に検討していきます。

化学物質過敏症

問 香りの刺激による化学物質過敏症について、ホームページの改善やポスターによる啓発は行っているか。

答 県では、これまで化学物質過敏症に関するホームページの作成や県民の友での周知啓発を行ってききましたが、ホームページについては、より簡単にアクセスできるようにするとともに、具体的な症状例や症状を誘発する可能性のある物質について掲載するなど、内容の充実を図ります。

また、国が作成した香りへの配慮に関するポスターを活用し、公共施設での掲示等に取り組みます。

国の重要文化財等の活用

問 本県にある国の重要文化財等に指定されている建造物を活用し、観光誘客に取り組んではどうか。

答 本県では、84件(答弁時点)の建造物が国宝・重要文化財に指定されており、その歴史・文化のストーリーに、食、温泉、体験などを組み合わせた旅モデルを「わかやま歴史物語」として取りまとめ、情報発信や周遊促進に取り組んでいます。

今後も、重要文化財等の歴史的・文化的価値を発信するとともに、地域の観光資源と組み合わせることにより、更なる誘客促進に努めます。

鳥インフルエンザへの対応

問 鳥インフルエンザの防疫措置を、県職員だけで行うのはなぜか。

答 高病原性鳥インフルエンザが発生した場合、まん延防止のため、家畜伝染病予防法の規定により、と殺、死体の焼却、汚染物品の焼却、畜舎の消毒等が義務づけられており、早期の防疫措置が必要となります。

今回の案件では、4万羽を超える鶏を、所有者だけでは処理できないため、県が防疫措置を講ずることを決定し、県民サービスが低下しないよう配慮した上で、県職員延べ2100人を動員して迅速に対応しました。

職員採用試験

問 就職氷河期世代を対象とした県職員採用試験の状況と、今後の取組はどうか。

答 就職氷河期世代を対象とした職員採用試験は、令和2年度から各年度5名の採用予定で実施しており、令和5年4月の入庁予定者を含め14名を採用しています。今後の就職氷河期世代支援については、国から引き続き氷河期世代の採用を推進するよう依頼があり、これまでの状況等を踏まえながら検討していきます。



水産物の販路拡大

問 新たな手法による水産物の販路拡大について、県はどう考えるか。

答 産地市場に水揚げされた漁獲物は、消費地卸売市場を経由して流通するのが主流ですが、近年は産地直売所やインターネットを活用した新たな販売方法が取り入れられ、本県でも消費者に直接販売する漁業者が少しずつ増えている状況です。県では、漁業者の所得向上に向け、eコマース導入支援などを通して、引き続き県産水産物の販路拡大に取り組めます。

ENEOS(エネオス)和歌山製油所跡地の活用

問 今後の期待と事業拡大に向けた取組についてうかがう。

答 製油機能停止後の跡地利用について、ENEOSと国際石油資本大手企業が、和歌山製油所で脱炭素化に向けた持続可能な航空燃料(SAF)の製造事業化に関する調査を行うと発表しました。

量産体制の事業化が実現すれば、地域経済や雇用への好影響と国産SAFの一大製造拠点となることを大いに期待します。

今後は、速やかにSAF事業化が実現するよう県を挙げて協力し、和歌山における更なる事業拡大を、ENEOSと国に強く要望していきます。

津波避難への県民意識

問 津波避難に対する県民意識を向上させるため、県はどう取り組むのか。

答 津波から逃げる意識を向上させるためには、広報啓発活動や、避難に対する教育、各地域における防災活動が必要と考えます。令和4年7月の自主防災組織の情報交換会には定員の2倍近い応募があり、また、「出張・減災教室」の申込みが既に昨年度を上回るなど、県内の防災活動もコロナ禍前に戻りつつあります。

引き続き、市町と協力しながら防災意識を高めていくよう取り組めます。

TOPICS | 議会活動の紹介

令和3年度決算議案を認定

決算特別委員会では、令和3年度一般会計決算(歳入6881億円、歳出6616億円)のほか12特別会計の決算及び公営企業決算(県立こころの医療センター事業会計など4事業会計)について、令和4年10月25日から27日まで審査を行い、決算議案を認定すべきものと決しました。

令和4年12月14日の本会議において、山田正彦委員長が、決算特別委員会における審査の経過・結果について報告を行い採決の結果、決算議案が認定されました。



関西広域連合議会11月臨時会

11月3日、関西広域連合議会11月臨時会がNCB会館(大阪市)で開催され、一般質問に林隆一議員が登壇しました。関西広域連合の役割と価値についての質問では、設立後、既に12年が経とうとしているが、分権型社会の実現や広域行政を担う責任主体となるといった当時に描いていた姿はまだまだ達成されていないことから、道州制や副首都構想なども含めた地方分権改革に向けた目標を設定した上で、一步踏み出した議論がなければ関西広域連合を今後継続していく価値はないのではないかと質問しました。さらに、12月で任期を終える仁坂吉伸広域連合長(和歌山県知事)に対し、これまでの実績や、今後への期待についても併せて質問しました。

質問に対し、仁坂連合長は、新型コロナウイルス感染症への対応や、ドクターヘリの運航、広域防災の協力などは全て連携で行っていることを例に、これらは関西広域連合という組織がなければできないわけではないが、組織があったからこそ構成府県市が集まって議論し、作り上げてきた成果であるとの認識とともに、自ら構想している政策を担わないのならば、あらゆる仕掛けや組織は意味がないとするのは違う、と関西広域連合の意義や必要性についての考えを答弁しました。また、仁坂連合長は今後の関西広域連合について、設立時の基本方針でもある「成長する広域連合」をめざして、さらに積極的な取組を進めていただくことを期待していると述べました。



林 隆一 議員

この他、林議員は、関西広域連合域内の中堅・中小企業の技術力強化に向け、域内の公設試をはじめ、様々な機関が連携して企業を支援する「関西広域産業共創プラットフォーム事業」についても質問しました。

INFORMATION | 県議会からのお知らせ

県議会では、虚礼を廃止した議員活動を行っていますので、ご理解・ご協力をお願いします。

テレビ・ラジオ放送

定例会の質問と答弁の様子や委員会の審議状況、議案の審議結果などをお知らせしています。

▶ テレビ テレビ和歌山(WTV)

県議会だより(予定)

開会日、質問日、閉会日の22時から25分間放送
(2月定例会の放送 2/13、20~22、24、27、28、3/1、7)

県議会手話だより(予定)

閉会日の約2週間後に、22時から30分間放送
(2月定例会の放送 3/21)

▶ ラジオ 和歌山放送(WBS)

県議会ダイジェスト(予定)

開会日、質問日、閉会日の21時30分から15~30分間放送
(2月定例会の放送 2/13、20~22、24、27、28、3/1、7)

県議会ホームページ

和歌山県議会

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/200100/cms/www/index.html>



● 県議会のしくみや主な動き、議員紹介、議会日程、質問項目、本会議録など様々な情報を掲載しています。

● 議会開会中は、質問など本会議場での模様を生中継しています。また、この中継録画やテレビ広報番組の録画をいつでも見ることができます。

「点字版、CD版」の案内

本紙の点字版、CD版(ボランティアの方による朗読)を作成しています。

傍聴してみませんか

- 本会議は、申込みなしで傍聴できます。
- 委員会の傍聴は、事前の申込みが必要です。

令和5年2月定例会 会期日程(予定)	
本会議	2月13日(月)
本会議(質問)	2月20日(月)、21日(火)、22日(水)、24日(金)、27日(月)
予算特別委員会(総括質疑)	2月28日(火)、3月1日(水)
常任委員会	3月2日(木)、3日(金)
本会議	3月6日(月)、7日(火)

※要約筆記をご希望の方は、事前に議会事務局までお申し込みください。ただし、申込日によっては、ご希望に添えない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

さあ、まっすぐな想いを
その一票に!!

和歌山県議会議員一般選挙

投票に行こう!



投票日 **4/9(日)**

期日前投票 **4/1(土) ▶ 8(土)**
投票日に予定のある方は上記の期間、期日前投票ができます。

お問い合わせ先
和歌山県選挙管理委員会
☎073-441-3785

クイズ & プレゼント

応募方法

はがきに、(1)クイズの答え「○○○○」、(2)〒住所、(3)氏名、(4)年齢、(5)電話番号、(6)「わかやま県議会だより」のご感想を記入のうえ、**2月24日(金) <消印有効>**までにご応募ください。

応募先

〒640-8585(住所不要)
県議会事務局
「クイズ&プレゼント係」

※当選者の発表は、発送をもってかえさせていただきます。
※皆様の個人情報、和歌山県個人情報保護条例に基づき適切に取り扱います。